

長研だより

No. 6

発行日 12月24日（火）

所外研修

12月11日（水）に、所外研修を行いました。最初に「国際バカロレア」認定校の茗溪学園中学校高等学校を見学してきました。グローバル社会を生きる子供達に必要な力、授業の展開、手立てについて考えることができました。

午後は、結城紬の里で機織りと藍染めの体験を行いました。グローバル社会において、自国である日本の伝統文化について学ぶことは意義のあることです。地域の伝統文化に触れ、日本のよさについて考えるよい機会となりました。



教職教育課主査講話

12月17日（火）に海老原治夫主査の講話がありました。長期研修の意義や日本の将来の課題について、具体的な事例を通して理解することができる内容でした。特に、「行動力のある若者の育成が高齢社会には必要である。」という言葉が印象的でした。また、様々な企業の事例紹介があり、学校運営や組織マネジメントに生かせる内容について、学ぶことができました。

最後に、心温まる絵本の紹介があり、長期研修生の心がさらに耕された講話でした。



ミニ研修：プレゼンテーションコンテスト



12月23日（月）に、「伝える力」の向上のためにプレゼンテーションコンテストという研修を行いました。各班ごとに視点を明確にし、説得力のあるプレゼンテーションを行うことができました。長期研修生からは、「興味をもって調べたことを伝えるのは楽しい。」、「学級でも、児童生徒が生き生きとした表情で発表ができるように支援をしていきたい。」との感想が聞かれました。

閉講式 — 3か月長期研修生の研修が修了しました —



12月24日（火）に3か月長期研修の閉講式が行われました。安藤所長からは、「今後、自分の志を受け入れてくれる同僚と共に、よりよい学校づくりをしてほしい。」との励ましの言葉がありました。式の最後に、茨城県民の歌を斉唱しました。茨城県の教員としての自覚と使命感を新たに、各学校での活躍を期待しています。

